

## 東三河支部

# 豊橋市との災害廃棄物の 仮置場設置・運営訓練を実施

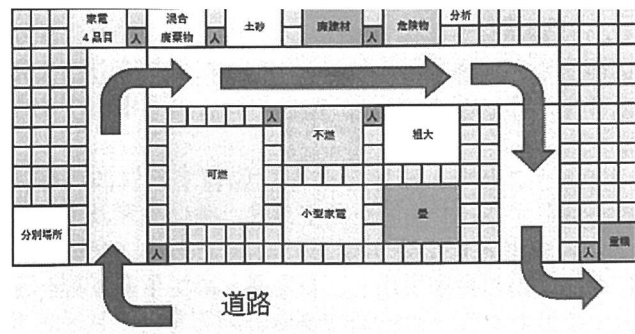
豊橋市は、令和6年11月27日（水）午前10時から豊橋市廃棄物最終処分場（豊橋市高塚町）において、（一社）愛知県産業資源循環協会（以下「愛産協」という。）東三河支部（鬼頭秀幸支部長）はじめ、関係団体の協力を得て、初めての災害廃棄物仮置場設置運営訓練を実施しました。



種井環境部長      鬼頭支部長      山本委員長

種井直樹環境部長と鬼頭支部長からは、豊橋市として初めての災害廃棄物仮置場の設置運営訓練を行う運びになり、実り多い訓練になること願っていますと挨拶がありました。

実地訓練に先立ち、（一社）日本環境衛生センター（以下「JESC」という。）のコーディネートのもとで、入念な準備を行いました。令和6年6月4日（火）災害を想定して非常連絡先に電子メールによる情報伝達訓練、令和6年10月15日（火）仮置場レイアウトの策定として災害廃棄物仮置場図上訓練、令和6年11月12日（火）実地訓練当日の役割分担や配置、実地訓練に際しての注意事項の周知として実地訓練事前説明会、そして令和6年11月27日（水）に実地訓練を実施しました。そして、実地訓練は①仮置場の設置、②人員配置・動線リハーサル、③仮置場への受付、搬入、荷下ろしを実施されました。



仮置場のレイアウト

東三河支部会員等20名、豊橋市一般廃棄物処理事業協同組合8名、東三河廃棄物処理事業協同組合4名で、①広報市民対応、②被災場所からの収集、③集積場、④仮置場受付、⑤仮置場までの交通誘導、⑥仮置場内の誘導、⑦選別・重機オペレーター、⑧搬入役、⑨搬出役、⑩廃棄物処理施設での受入、⑪環境測定と細部に渡って人員が配置されました。



受付の様子



搬入の様子



仮置場の様子

訓練の終わりに、愛産協災害廃棄物処理対策特別委員会の山本浩也委員長から豊橋市で初めての訓練であり色々な団体と顔の見える関係を持つことができた大変有意義な訓練であった。今回の訓練で得た課題の解決を図り今後に活かしていただきたいと講評がありました。